
















	特に好調 ($30 \leq DI$)	好 調 ($15 \leq DI < 30$)	まあまあ ($0 \leq DI < 15$)	やや不振 ($\triangle 15 \geq DI > 0$)	不 振 ($\triangle 30 \geq DI > \triangle 15$)	きわめて不振 ($DI > \triangle 30$)
部 会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概 況			
寝 装 リビング			「紡績工場は忙しく、染工場は暇。白生地糸が増える傾向」「H22.4～6の3ヶ月は、売上状況（前年対比）増加している」との声あり。材料が石油製品のものについては、材料費値上げの話があるとのこと。			
織 維 ファッション			依然として中国事情で左右され、厳しい状態が続いている様子。特殊糸使用による販路拡大に期待し、製造卸から通販業者との協力により消費者直結型販売を検討している。夏場に向かって低価格商品は活発化しているが、全体的には前年並みとのコメントあり。小ロット多品種の要望が益々強くなり、苦慮しているとのこと。			
工 業			原材料の上昇傾向、短納期に苦しむとの声あり。半導体関連産業の好調を受けて、電子関連備品の受注が増加する見通しあり。また、中国・インドなど新興国需要が伸びており、自動車部品関係の受注は今のところ安定しているが、取引先から納入価格引き下げの要求が強く、その下げ幅も非常に大きいとのこと。			
建 設			近畿圏内としては、着工数は若干であるが前年を上回っているようだが、泉州地域に関しては新築、建設の動きは少ないとの声あり。建設業の倒産件数は減少しているが、廃業しているところが増えているため、建設業者が減少している様子。			
運輸倉庫			荷主の生産抑制や在庫調整を続ける中、輸送量が少なく、運賃の値下げ要請に応じざるを得なくなっている様子。また、雨天が続いたため、夏物が動かず悪化状況にあるとのこと。第一四半期は好調に推移し、やや回復基調の実感はあるが、今後の景気も不透明なところも多く、先行きはまだまだ不安である。また、営業努力の結果、昨年よりは回復したが今後は2年前の80%くらいで維持できるように努力したいとのコメントあり。			
金融理財			業種によっては「大きな変動はない」「全体的には厳しい」とのコメントあり。保険法がH22.4月から施行されたことにより、顧客保護や支払いの迅速化がよりいっそう進み、保険会社の手数料点数制の細分化等抑制されている様子。自身を外へ外へと向かわせる勇気が必要とのこと。			
一般商業			「見通しがつかない」「100円ショップについていけない」との声が寄せられた。又、夏場は不調が定番の商品もあるが、やはり買控えやPB商品、低価格志向も大きな原因で売上高減とのコメントあり。エコカー減税、エコポイントで一部回復基調にあったようだが駆け込み後の不安が懸念される。			
サービス業			介護業界からは、入院等で利用者は減っていくのに、新規利用者がなく経営悪化状態。一方で、新規依頼で対応には追われているが、収益に必ずしもつながるとは限らないので、とにかく今は精一杯がんばるしか…とのコメントあり。辛抱強くこの不況を乗り切り、景気の上向くのを待ちます。とにかく購買力の上昇を望むとの声あり。			